



研究成果

レンコン新品種「阿波白秀」の育成

【はじめに】

正月のおせち料理や煮物、天ぷらなどで親しまれているレンコン。徳島県は全国第2位の出荷量を誇り、京阪神市場では1位のシェアを占める。中でも生産量の7割を占める主力品種「備中」は、品質が極めて高く、市場で高い評価を得ているが、台風被害が大きな悩みであった。そこで、生産者から早生品種開発への要望を受け、2006年度から研究に着手した。この度、新品種「阿波白秀」を育成したので、その概要を紹介する。

【育成経過】

「備中」と早生系品種「オオジロ」「ロータス」「金澄」間で人工交配を行い、得られた種子からレンコンを栽培し、1～3次選抜を行った。2007～2011年度の播種数は944個で、このうち5系統を選抜し特性評価試験を行った（表1）。

特性評価試験は、主要なレンコン産地である鳴門市には場を移し、早晚性や形状、収量を確認するとともに、品種登録に必要な特性を調査した。この結果、2009年度に交配した「オオジロ」（母）×「ロータス」（父）が、最も早生性と収量性に優れた。2015年度は、生産者ほ場で試験栽培を行い、特性が安定していることを確認した。

表1. 播種数と3次選抜を経た選抜系統数

母	父	播種数	選抜系統数
備中	ロータス	101	
備中	オオジロ	139	
オオジロ	備中	139	2
オオジロ	ロータス	168	1
ロータス	備中	124	1
ロータス	オオジロ	159	
備中	金澄20号	43	1
金澄20号	備中	53	
ロータス	金澄20号	18	
合計		944	5

注) 播種数は2007～2011年度の合計数

【「阿波白秀」の特性】

- 収穫時期が8月下旬からで「備中」の9月下旬に比べ1カ月程度早い（図1, 2）。
- 肥大茎の形状や外観は、「備中」に比べてやや太く短い。表皮は白く「備中」と同等。
- 収穫量は、「備中」に比べ2割程度多い。
- 食味・食感は、甘さ・固さが、「備中」と同等。
- 花の色は、白色で花びらの先端が赤い。

このような特徴から『徳島生まれの白花で秀でたレンコン』をあらわす「阿波白秀」と命名し、2015年11月に農林水産省へ品種登録出願を行った。



図1 「阿波白秀」9月上旬（十分肥大している）



図2 「備中」9月上旬（肥大が十分でない）

【おわりに】

今後、「阿波白秀」は、露地栽培で夏台風による被害を軽減するため、主力品種「備中」の補完品種として導入をすすめ、ハウス栽培やトンネル栽培における早期出荷作型の主要品種としての普及に努める。

（農産園芸研究課 野菜・花き担当 篠原 啓子）